

「世界中の銀行券を印刷する～KOMORI 証券印刷事業の挑戦」

銀行券には、偽造防止のための特殊な印刷技術と高い安全性が求められます。KOMORI は世界に 2 社しかない銀行券印刷機メーカーの一つとして、最高技術の粋を集めた機械の開発・製造に取り組み、国内外で高い信頼を得てきました。

この度、米国ドル紙幣の印刷局である Bureau of Engraving and Printing より、複数台の銀行券印刷設備を受注し、KOMORI の悲願の一つが実現しました。

60 年にわたり、KOMORI の証券印刷事業の発展に力を注いできた、当社取締役会長の小森善治に、これまでの挑戦と歴史について話を聞きました。

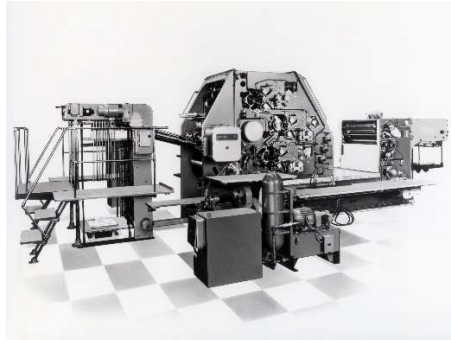


当社取締役会長 小森善治

証券印刷事業の始まり

1958 年に国立印刷局との共同開発をさせていただいたことが KOMORI の証券印刷事業の始まりでした。日本銀行券を印刷するのは国産の機械が必要だという話を受けて、開発に取り組みました。

70 年近くにわたり、5 つの工場に累計 200 台以上のオフセット印刷機、凹版印刷機、番号印刷機を納入させていただいて今日があります。現在も約 50 台が稼働しており、2024 年に発行された新紙幣も、当社の印刷機械で印刷されています。



左：初めて大蔵省印刷局に納入した銀行券印刷機は足立工場で製造

右：1958年に国立印刷機に納入された凸版枚葉2色印刷機TR231

海外市場への挑戦

私は1962年にKOMORIに入社し、証券印刷事業を海外に拡大し、成長させることが夢となりました。海外進出の契機となったのは、1987年に日本で開催された中央銀行総裁会議でした。世界各国の中央銀行総裁が来日するこの機会を逃すまいと、当社はセミナーや工場見学、印刷実演会を開催し、日本の技術を紹介しました。これをきっかけに各国からの引き合いが増え、当社の印刷機械が世界に認知されました。最初にロシアの財務省印刷局から凹版印刷機を受注し、1988年には、証券印刷機の海外1号機として、韓国造幣公社に証券用印刷機を納入しました。

1995年にはインド中央銀行との商談が成立し、新工場を建設する大規模プロジェクトが始まりました。8ライン¹の印刷機を納入するという、1つの町ができるほどの大きなプロジェクトでした。1997年にはナイジェリア造幣公社から2ラインの発注を受け、大統領が来日して商談が成立しました。この機械が大変評価され、大規模な海外輸出のきっかけとなりました。



左：1987年の印刷実演会で刷られたハウスノート第1作

右：インドに納入された凹版印刷機カレンシーI322

¹ 銀行券は、複数種類の印刷機を組み合わせることで偽造防止効果を高めています。銀行券を印刷するための一連の機械群を、ラインという単位で数えます。

東南アジアでの成長と欧州での成功

東南アジアへの進出にも力を入れ、インド、インドネシア、タイ、フィリピンなど、私も担当者と世界中を回りました。しかし、すでに使用している機械を切り替えるということは困難で、契約に至らないことも多々ありました。オフセット印刷機の実績や新技術、そしてアフターセールスサービスまで力を入れていること、これらを商談では伝え続けました。そうして、ようやくフィリピンに 1 ライン納入いただけたことをよく覚えています。

また、インドネシアでは、何度も訪問を断られていましたが、粘り強く交渉を続けました。その結果、今では約 30 台もの機械を納入いただいています。KOMORI の機械の良さやアフターケアの良さを理解していただけたことが、良い商談につながりました。

近年はベトナムで、新工場計画が進み、10 年以上の商談を経て、2024 年にオフセット、凹版、番号機の 2 ラインの商談が成立しました。私は昨年新工場を見学させていただきましたが、大変広くて大きな素晴らしい工場でした。ここに当社の機械が並ぶと思うと感無量です。

欧州では、2000 年代に入り、2011 年には世界最大の民間銀行券印刷会社である英国のデ・ラ・ルー社に 1 ラインの印刷機を受注しました。同社は、各国の紙幣を印刷しており、KOMORI がヨーロッパ市場へ踏み出す大きな一歩となりました。デ・ラ・ルー社とは特別なパートナーシップ契約を結び、新しい技術情報や印刷技術の提案、当社からの保守サービスを包括的に行っています。

このパートナーシップが軸となり、その後の欧州での商談が発展しました。英国では、2014 年にイングランド銀行より 2 ラインを受注し、現在英国のポンド紙幣は 100% KOMORI の機械で印刷されています。2019 年にはフランス銀行より複数台を受注し、ユーロ紙幣の印刷に当社の機械が使われています。その後、アラブ首長国連邦、ブルガリア、マルタ、イタリア、トルコなどへの納入が進みました。さらには、納入が難しいとされてきたアフリカのコンゴにも 1 ラインを受注することができました。



左：KOMORI の印刷機で刷られたポンド紙幣

右：2018 年に国際通貨協会（IACA）最優秀技術賞を受賞した、番号印刷機カレンシーNV32

夢にみたドル紙幣の印刷

KOMORI の印刷機でアメリカ・ドル紙幣を印刷することは、私の長年の夢でした。今回米国ドル紙幣印刷局より受注をいただくまで、15 年以上同社を訪問し、商談を重ねてきました。ワシントンやテキサスの工場を訪れ、当社つくばプラントでのテストを行ってきましたが、お客様の要求は高く、なかなか期待に応えられない期間もありました。

しかし今回、これまでのアジアや欧州などのお客様への納入実績と、培った知見を総合的に提案し、複数台のオフセット印刷機の注文をいただくことができました。今回第一歩が踏み出せたことは、KOMORI の歴史に残る 1 ページになると思っています。

これが、私が経験した証券印刷事業の歩みです。ここまで苦労することも多々ありました。何よりも機械を変更する、ということは、特にオペレーターにとって不安なことです。慣れない機械や最新の技術が搭載された機械を使いこなせるか、という心配がいつもあります。私は、この不安を取り除くことが KOMORI としてできることだと考えています。良い機械を作り、納入後のサポートまでしっかりと行う。一度機械を使っていると、その良さに気づいていただけます。

今では、38 の国と地域のお客様に 200 台以上の印刷機械を納入し、英国ポンド、欧州ユーロを含む、合計 100 券種以上の銀行券が KOMORI の機械で印刷されるようになりました。



今後の展望

証券印刷事業は当社の大きな柱のひとつであり、市場は今後も大きく伸びると考えています。アジアの人口が増加している地域や、まだ当社の機械が少ない中南米やアフリカでも、今後商談が増えると思います。紙幣以外の分野でも、高度なセキュリティ技術が求められる印刷において、パスポート印刷機などの印刷機の需要も高まると予想されます。パスポートはセキュリティが厳しく、特別な印刷機が使われます。当社の高いセキュリティ印刷技術が認められ、日本の国立印刷局をはじめ、カナダ、東南アジア、ヨーロッパのお客様にも納入されています。

今後も世界中の銀行券印刷で証明されている高い信頼性と偽造防止印刷技術を提供し、より幅広い範囲で、国、企業、個人のアイデンティティを守ることに貢献していきたいと考えています。

また、当社はデジタル印刷機の開発も行っていますが、今後銀行券への活用が見込まれています。デジタル印刷は、1枚ごとに異なる絵柄を印刷できる特長があるため、オフセット、凹版、番号印刷と組み合わせることで、より高度なセキュリティ印刷を施すことができます。

さらに、証券印刷事業で培った技術は、他分野でも応用されています。当社のプリントド・エレクトロニクス（PE）事業では、紙幣に使われているマイクロ文字の細線印刷技術を応用し、グラビアオフセット印刷機の基板製造において活用されています。セキュリティ印刷は高度な技術の宝庫なので、様々な分野で活用の可能性があると考えています。

証券印刷機の開発は、大変重要なテーマです。私はこの事業に多いに投資していきたいと考えています。



デジタル印刷をはじめとしたさまざまな最先端プリントテクノロジーが盛り込まれた当社 100 周年記念ハウスノート



セキュリティ印刷のデモンストレーション、トレーニング、研究開発機関を備えた KGC-S（Komori Global Center-Security）

世界に感動をもたらす企業

私は社長になった時、「顧客満足」という言葉を「顧客感動」という言葉に変更しました。お客様に感動していただけるような、期待を超えるような会社にならないといけない。この思いが社員に浸透し、お客様に感動していただけると、次の機械もまた KOMORI を選んでいただける。この良い循環が事業を成長させると考えています。

私の夢はまだまだ大きいです。これからも社員とともに、お客様やパートナー、KOMORI と関わるすべての人々に感動を届けていきたいと思います。

